



村小だより

令和元年12月13日発行

努力を称え 次につなげたい

校長 鈴木 正美

2学期(82日間)も間もなく終業式を迎えます。残暑が厳しかった9月、涼しく、すごしやすさを感じた10月、寒さの訪れが遅かった11月、そして、「暖」が不可欠となった12月と、季節の変化を肌で感じた2学期でした。また、10月後半からは、熊出没への対応に神経を使う日々でしたが、保護者や地域の皆様からのご協力のおかげもあり、無事に普段通りの学校生活を取り戻すことができました。心から感謝申し上げます。

この間、子どもたちは、日々の授業や活動はもちろんのこと、運動会や文化祭等の学校行事や陸上大会等に向けた練習や準備に本気になって取り組み、大きな成果を発表してくれました。併せて、科学研究、作文や俳句、習字や絵画等の様々なコンクール等に自ら進んでチャレンジし、優秀な成績を収めた子どもたちも多かったと思っています。素晴らしいことです。一人で黙々とがんばることやみんなと力を合わせてがんばること、ともによくがんばった2学期だったとふり返っています。

1学期同様、終業式で「全校としての2学期の成績」を子どもたちに示し、3学期のがんばりにつなげてほしいと思っていますところでは。

<12月3日 3年生「ミニ村上大祭」から>

たくさんのお家の方々に加え、村上祭保存会の会長様はじめ、お祭りボランティアの皆様、村上小コミュニティ・スクール学校運営協議会委員の皆様から参加していただきました。多くの方々の視線を感じながらも、子どもたちは、総合的な学習の時間で「学んだこと」「感じたこと」「思ったこと」について、堂々と説明したり、歌ったり、演奏したり、踊ったりすることができました。

中でも熱気ムンムンの中で行った屋台の曳き回しは圧巻でした。参会の皆様からは、曳きながら歌っていた「3年甚句」(子どもたち作)に対し、「よく考えてあり、感心した」という多くの声が聞かれました。

- 【3年甚句】
- ・「おしろ山 緑がきれい いつかみたいな まいづるじょう」
 - ・「村小のグランド まつの木があるよ 100年前から みまもっている」
 - ・「三面川 けしがきれい 川のながれは きらきらと」
 - ・「のせものは さけアンドお酒 三年のかみさま もっている」(1組)
 - ・「のせものは 川をのぼるさけ たまごうむため いのちがけ」(2組)

さて、どのご家庭でも「年越しする」「新年を迎える」ために、非日常的な(普段と違う)行いやその準備作業等があると思います。既に家庭(地域)で取り組まれているとは思いますが、是非、子どもたちの学年に応じた役割(手伝い)を与え、取り組ませ、認めてやり、自分の成長を自覚させ、「家族(地域)の大事な一員」であることを実感させてほしいと願っています。

間もなく、冬休みになりますが、楽しく安全な生活ができるように、家庭、地域での見守りや励まし、よろしくお願いいたします。

今年一年のご理解とご支援に心から感謝いたします。よいお年をお迎えください。